

第23号

諏訪二葉高等学校同窓会
東京支部編集委員会



支部長挨拶

伝えること 繋ぐこと

東京支部長 五味のりほ



会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

まず初めに、会員の皆様のご協力を賜り、平成30年度東京支部総会が無事に開催できましたことに、厚く御礼申し上げます。

昨年の総会において、維持費の改定が承認されました。昨年度はこのことを会員の皆さんにお伝えして、ご協力いただくことを活動の主軸としてまいりました。お陰をもちまして、維持費、賛助会費ともに予算額を上回る入金がありましたことをご報告申し上げます。また、多くの方々よりご芳志をお寄せ頂きましたことに感謝申し上げますとともに、皆様からのご声援に身の引き締まる思いを新たにいたしました。

二葉生はどこかで繋がっている、という思いを強くした1年でした。去る平成27年5月岡谷美術考古館に故辰野登恵子氏の追悼展を訪ねて、色彩の豊かさに心ひかれたことが、恩師である二木六徳先生のご講演を賜ることに結び付きました。辰野登

恵子氏との出会いが、追悼展であったという自らのうかつさが悔やまれてなりません。

出会った方々について、また先輩の方々から伝え聞いた先人たちの息吹を、伝えていかなくは、と思えます。

今年の冬、何年かぶりの御神渡りがありました。凍てつく氷の下、深い底から何物かが緩やかに動いている音を聞きました。陽光きらめく夏の諏訪湖とは異なる姿に、畏れに似た感動を覚えました。

同窓会なんて関心ないという方もおられることでしょう。思いは、人様々です。

おせっかいと感じる方もいると思いますが、同窓会はおひとりおひとりを繋ぐためにあると思います。

東京支部の11月の幹事会では、次年度の幹事さんのご推薦をお願いしています。毎年、各回生から同期を代表される幹事さんの名簿が続々と届くことに、東京支部の確かな力と、二葉生の気概を感じております。

同期会の楽しい集いが、東京支部の基礎ではないかと改めて思います。語り合い学び合い、心豊かなひと時を過ごされますように。最後に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

左:旧校舎 右:新校舎



「二葉の22年」

講師 二木六徳氏

元諏訪二葉高等学校美術科教師

諏訪二葉高校に昭和37年から22年間、美術科教師として勤務された、六さんこと二木六徳先生を講師としてお迎えしました。

現役時代と変わらぬお姿で登場され、張りのある声で、俺の「二葉の22年」についてスライドを見ながらお話しいただきました。

まずはアカペラで、山の歌「いつかある日」(デュプラ作詞)を披露され、東京芸大山岳部仕込みの美声で皆の心をつかみます。

そして二葉に着任した日のお話へ。初めて二葉に来た時、まずその校舎に共感したと言います。廊下の佇まい、アーチ状になった天井、腰板、その静けさ。そして押し開く窓。まさに学ぶべき学び舎である。入ってくる光によって交錯する梁の影に見惚れつつ、根底にあるのは思索する場であり、それこそが校舎である。二葉の旧校舎への並々ならぬ思いが伝わってきました。二葉祭のポスターは、美術選択者が描いて、生徒の投票で決まるのが恒例でした。あ

る年、投票上位以外のポスターをどうしても推したい、と全校生徒を集めて思いを伝えました。わかってもらいたい、理解してもらいたいことを、俺の言葉で皆に伝えた。これが生徒と教師のやり取りだ、と思える出来事だったそうです。

「教師として高校生に関わってよかった。子どもの域からだんだん脱しながら、やがて大人になっていく年代は、我が内なる心が大きく揺れる時。この時に俺が関わらないで誰が関わるか。生徒たちは授業に出てどういう興奮、驚きがあるか。俺が今一番感じていること、それを生徒に向けた時どうであるか。その中で様々なテーマをぶつけた」と。

先生のライフワークとも言える絵本の世界について。二葉に在任中にお子さんが生まれ、新たな命の誕生に感動し、日々変化していく姿に心奪われる中で、絵本の世界を知ったそうです。絵本がこれほど優れているとは。子どもがいかに大事か。子どもは一過性のものではない。全幅の思い



でかからなければならぬという鈴木三重吉や武井武雄に共感し、自身でも創作し、また授業でも絵本を課題にしました。製本まで自分たちで行った絵本を、諏訪丸光で「高校生の絵本展」として展示した際は、大勢が見に訪れました。こうした活動から後年、岡谷市のイルフ童画館開館の際には初代館長として招かれ、絵本との関わりは続いていきます。

二葉高校への愛情と、もっと伝えたいという情熱が溢れる講演でした。二木先生ありがとうございました。(杉山)

これで終わります。
今日はどうも、
まだまだ84歳
みなさんに会えてうれしかった。
デュプラのような思いを持ち続け
生きて下さい。
2018(平成30)5.19迄

講演の最後のスライドより

総会報告

東京支部副支部長 鈴木泉

5月19日(土) アルカディア市ヶ谷において東京支部総会が、135名の参加により開催されました。来賓として、母校の守屋郁男校長先生、同窓会本部より岸昌代同窓会長、味澤れい子副会長、武藤桂子副会長、石澤路子副会長にご臨席を賜りました。

第一部の定期総会は開会后、校歌斉唱。物故者に謹んで黙祷を捧げました。議事に先立ち五味支部長より「昨年度は、維持費改定を周知することを目標に活動してきた。本日の総会を楽しんでください」との挨拶がありました。

続いて、守屋校長先生と同窓会本部の岸会長からご祝辞を賜りました。議長に25回生

の浅野妙子さんが選任され、平成29年度事業報告、決算報告、30年度事業計画案と予算案、役員紹介について活発な討議後、拍手をもって承認されました。

第二部は、二木六徳先生をお迎えし「二葉の22年」と題した講演をしていただきました。

第三部の傘寿を祝う会では、高女36回生の青木武子様のご挨拶のあと、高校9回生の13名の皆様を祝し花束を贈呈。千田洋子様よりお礼の言葉をいただき、支部への寄付金が贈呈されました。最後に「信濃の国」を皆で歌い上げ、総会は滞りなく終了いたしました。



▶活発な議論

総会アンケートより

(回収45枚)

アンケートにご協力頂きありがとうございました。

総会全体については、活発な議論がなされ、同窓会に対する熱意を感じた、講演会については、二葉の良さを再認識した、人間味のあるお話が良かった、などの意見をいただきました。

また、今後の講演会については、具体的な内容やお名前が多数ありました。同窓会活動の今後については、役員負担を軽減する必要性や、支部活動の意義を問うご意見も寄せられました。

東京支部創立70周年に向けては、基金の利用や記念式典、祝賀会を行いたいという一方で、通常通りで良いのご回答もありました。

皆様の貴重なご意見を、今後の同窓会運営に役立ててまいります。

傘寿の皆様からのお手紙

総会終了後、傘寿の高校9回生の皆様から
温かいお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします



◆伊藤 すみ江 様

花束を

贈られ傘寿の同窓会

卒業となり遊行に入らむ

お心づくしの同窓会ありがとうございます。拙いながら短歌を詠むことに支えられて来た60年です。二葉での国語乙(古文)は久保田健二先生でした。島木赤彦「湖」の短歌に魅せられたのが原点であり、出会いの大切さを今更思います。同窓会の日のご講演は青春の心を蘇らせてくださいました。

生、命、平和、創造、芸術、の情熱が伝わり時にユーモアを交えたお話に温かく包まれた時間でした。ありがとうございます。

◆坪田 民恵 様

本日は盛りだくさんの同窓会の中で傘寿を祝う会までしていただきありがとうございます。二木六徳先生のお話、同窓会にはとても合うお話でいろいろ思い出が多かったです。女学校の3年間は長く感じられたのに、その後の62年間の短かったこと、でも、皆さんとても80歳とは見えないお元気で、私も頑張らないと思いましたが、幹事さんを決めなうという事になりましたが、タッフとしないと続けられないと思います。

◆中沢 優子 様

傘寿のお祝いありがとうございます。今、私のアトリエにはお祝いでいただいた深紅のバラがほほ笑んでいます。二葉を卒業して60年、その間ことあるごとに母校の友人に励まされ助けられ歩

んだ道のりのように思います。つまづき落ち込んだ時、痛んだ心に寄り添っていただいた言葉、嬉しい時の祝いの言葉など心に強く残っています。それは私の原動力ともなり、今日まで制作を続けられております。

60歳で同窓会に関わり、300名を超える出席の総会を出来たのも、この友情の絆あってこそと思っております。そして傘寿を迎えた今、母校の友人、先輩、後輩に「ありがとうございます」と申し上げ、同窓会が友情の輪でつながり、これからも存続し発展するよう願っております。

◆野澤 靖子 様

定期総会に傘寿のお祝いをしていただき、とても素敵なブーケを頂戴しありがとうございます。私にとって同窓会は先輩方や現役の方達のご意見やお話を伺ったり、また講演会も楽しみで平凡な日々の中で刺激を受ける特別な一日でありました。今年自分の中で卒業式と思い、出席させて頂き役員皆様方の心配りに嬉しく感謝しつつ帰途につきました。今後の同窓会の発展を祈念いたします。

◆小林 園子 様

同窓会に初めて参加したとき、傘寿を迎える先輩方に花束贈呈があり感動したことを覚えております。この度、私たちも傘寿を迎え、お祝いの会をして頂き、感謝しております。

総会の際に行われる講演会は、いつも魅了させられました。二葉総会の伝統行事の一環としてこれからも続けて行ってください。

昔のことですが、私の母(高女15回生)が同窓会に長年かかわっており、幼少の頃、母に連れられ、同窓会に行ったこと、結婚して東京に出るから、高女27回生の叔母と一緒に支部同窓会に出席

したことなどが懐かしく思い出されます。叔母は今年10月に100歳となる素敵な先輩です。今後の二葉同窓会の発展を祈りながら、明るく健康を維持して長生きしたいと思っております。

◆齋藤 桂子 様

この度は私たち9回生のために心のこもった傘寿の会を催して下さりありがとうございます。大変思い出深いひと時となりました。

又、9回生の集合写真をお送り

いただき、感激を新たにしています。右下の写真はいただいた素敵な花を記念に撮りました。今後若い会員が増加すること、同窓会のますますのご発展を祈念しております。

◆中山 けなと 様

此の度は素敵な花束を贈呈頂きまして誠に有難うございました。長い生涯の中でふと心に浮かぶ二葉の思い出は、活力溢れる先生方の授業やクラスマッチで「若い力」を声の限り歌ったり信濃の国が流れる中皆でやった週末の全校清掃や白馬登山、腕時計もなく目覚まし時計を持って諏訪湖で友達とボートを漕いだ事等、どれもキラキラと輝いて正に青春そのもので、いつも元気が湧いてきます。正に校歌の様に「いくそたび吾等かへりて新しき生命を汲まむ魂の永久のふるさと」です。そして入学式でしたか片瀬校長先生の「素直であれ、有難きを思え、本気で働け」は新入生の心に深く沁みて生涯支えられて来ました。人生はオンラインワンページです。どうか皆様も心一つの置きどころでどんなことも感謝に振り替えて元氣はつらつと心で生きて行ってください。



※紙面の都合上、一部割愛させていただいています。

平成29年度 決算報告 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算	収入	備考
1 前年度繰越金	1,459,996	1,459,996	
2 維持費	1,000,000	1,085,000	
3 賛助会費	200,000	249,129	誤入金129円含む
4 寄付金等	0	204,000	6回生4名,7回生,27回生他の皆様より
5 雑収入	500	28,006	総会欠席者会費,「支部だより」広告掲載料等
6 同窓会基金より	0	0	
収入合計	2,660,496	3,026,131	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算	支出	備考
1 総会 講師謝礼・お車代	120,000	120,000	
	会場費・諸経費	200,000	809
2 「支部だより」作成費	260,000	91,524	「支部だより」第22号印刷費等
3 弔慰金	5,000	2,452	弔文レタックス
4 役員・事務局費	200,000	209,956	役員通信費・交通費等、事務局人件費
5 役員会議費	120,000	72,200	役員会会場代等
6 幹事会費	120,000	141,077	11/12 幹事会案内葉書、会場費、弁当代
7 送料・通信費	430,000	322,131	「支部だより」送料等
8 印刷・コピー費	50,000	17,156	資料印刷(用紙、インク、コピー代)
9 事務用品費	10,000	1,268	領収書等購入
10 渉外 本部関係	30,000	28,000	母校110周年祝金、参加者交通費補助
	連合同窓会	20,000	12,000
11 雑費・予備費	20,000	26,566	賛助会費手数料負担、払込用紙印字代等
支出小計	1,585,000	1,045,139	
12 次年度繰越金	1,075,496	1,980,992	
支出合計	2,660,496	3,026,131	

東京支部同窓会基金

(単位:円)

項目	予算	実行額	備考
1 前年度繰越金	2,752,000	2,752,000	
2 寄付金	0	230,000	8回生の皆様より
3 引当金	0	0	本会計振替
合計	2,752,000	2,982,000	次年度繰越金

上記のとおりご報告いたします。平成30年3月31日

会計 加藤 妙子 印 戸田 敏恵 印

上記は監査の結果、間違いのないことを認めます。平成30年4月18日

会計監査 中村ちづる 印 原 素子 印

平成30年度 総会会計報告

<収入の部>

(単位:円)

項目	金額	備考
1 会費	685,000	5,000円×137名(出席135名、欠席立替2名)
2 御祝儀	20,000	本部より
3 H30年度本会計より	120,000	講師謝礼金、お車代
4 H30年度本会計より	101,449	諸経費、補助
合計	926,449	

<支出の部>

(単位:円)

項目	金額	備考
1 講師謝礼、お車代	120,000	
2 会場費用	622,811	アルカディア室料 199,800円、 食事代・和菓子・お茶380,376円、 設備費(ステージ・演出・マイク 他)30,456円、 サービス料 56,521円、値引き -44,342円
3 総会案内、資料関連	136,673	葉書用紙等9,759円、案内状・資料印刷費31,330円 郵送代(案内状、挨拶状、欠席者連絡等)95,584円
4 雑費	46,965	お土産代1,620円、贈呈花束代19,500円、 交通費、20,614円、 ネームプレート・各種コピー・文具代等5,231円
合計	926,449	

上記のとおりご報告いたします。平成30年6月9日

会計 加藤 妙子 印 戸田 敏恵 印

上記は監査の結果、間違いのないことを認めます。平成30年6月9日

会計監査 内田真理子 印 和田 靖子 印

平成30年度 予算 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

<収入の部>

(単位:円)

項目	予算	備考
1 前年度繰越金	1,980,992	
2 維持費	1,000,000	
3 賛助会費	200,000	
4 寄付金等	0	
5 雑収入	500	預金利子他
6 同窓会基金より	0	
収入合計	3,181,492	

<支出の部>

(単位:円)

項目	予算	備考
1 総会 講師謝礼・お車代	120,000	
	会場費・諸経費	243,000
2 「支部だより」作成費	260,000	「支部だより」第23号印刷費等
3 弔慰金	5,000	弔文レタックス
4 役員・事務局費	220,000	役員通信費・交通費等、事務局人件費
5 役員会議費	120,000	役員会会場費等
6 幹事会費	150,000	案内葉書、印刷代、会場費等
7 送料・通信費	350,000	「支部だより」送料等
8 印刷・コピー費	50,000	資料印刷(用紙、インク、コピー代)
9 事務用品費	10,000	役員会資料代、事務用品等
10 渉外 本部関係	30,000	本部総会等交通費
	連合同窓会	20,000
11 雑費・予備費	40,000	賛助会費手数料負担、払込用紙印字代
支出小計	1,618,000	
12 次年度繰越金	1,563,492	
支出合計	3,181,492	

東京支部同窓会基金

(単位:円)

項目	予算	備考
1 前年度繰越金	2,982,000	
2 引当金	0	
合計	2,982,000	

平成30年度 事業計画

① 主な会議・会合

◆平成30年度定期総会 日時:平成30年5月19日(土)

◆役員会 開催月:平成30年 6月、7月、9月、10月
平成31年 1月、2月、3月、4月、5月

◆幹事会 平成30年11月23日(金/祝)

◆平成31年度定期総会 日時:平成31年5月11日(土)

② 主な事業 課題への対応

- ①同窓会維持費納入率の向上
 - ・学年幹事を通じての納入依頼(再確認依頼)
 - ・「支部だより」に維持費納入依頼を同封・同窓会への関心向上
- ②支部だより「二葉」第23号発行
- ③若い世代(男性会員を含む)の会員の拡大
 - ・新規会員の開拓 ・同期会、クラス会開催支援
 - ・若い世代の学年幹事開拓(支部だより発行時に呼びかけ)
- ④時代に対応した会の運営推進
 - ・会員の活動紹介と応援(「支部だより」への寄稿掲載等)
 - ・総会、幹事会、役員会等の土日開催
 - ・諏訪二葉高等学校同窓会本部との連携(名簿、ホームページ、情報交換等)
 - ・会員相互の情報交換の推進(Twitter、Facebook、幹事会等)
- ⑤同窓会東京支部役員の在り方についての再検討
 - ・事務局の固定化、役員の負担軽減化 ・役員選出方法の検討
- ⑥東京支部活動場所の確保

役員紹介

- ① 出身地・出身中学校
- ② 二葉の思い出のイベント
- ③ 同窓会東京支部への抱負



左上から：瀧田由織／川口洋子／前田妙子
松村佳代／栗林理恵／杉山恵美／
和田靖子／内田眞理子／岡田光子／鈴木泉
五味のりほ／村松多寿子／江原美規子

支部長

- 五味のりほ(牛山) 25回生
- ① 茅野市・茅野北部中
 - ② 賞品の「かりんとう」獲得を
目指してクラス一丸となって
挑んだ合唱コンクール。
 - ③ 気軽に楽しく参加できる同
窓会にしたいです。

副支部長

- 村松多寿子(白鳥) 25回生
- ① 岡谷市・岡谷北部中
 - ② 二葉祭に向けて地歴部考古
班で竪穴式住居を作ったこと。
夏休み中に合宿し、岡谷市の
縄文時代遺跡を発掘調査した
こと。
 - ③ 楽しく参加しやすい同窓会
にしたいと思います。

副支部長

- 岡田光子(両角) 27回生
- ① 茅野市・長峰中
 - ② 二葉祭フィナーレのファイア
ーストーム。
 - ③ 次に繋ぐ手伝いができたら。

副支部長

- 鈴木泉(河田) 27回生
- ① 茅野市・長峰中
 - ② 校有林の下草刈り。
 - ③ 支部だよりで楽しい紙面を。

南信同窓連・東京同窓連理事

- 江原美規子(雨宮) 14回生
- ① 諏訪市・上諏訪中
 - ② 体育祭 フォークダンス
諏訪清陵高校来校。
 - ③ 二年目継続は力なり。男性
会員の入会を目指して。

会計

- 栗林理恵(伊藤) 31回生
- ① 諏訪市・上諏訪中
 - ② 校庭脇でのお花見。
 - ③ 出会いに感謝、明朗会計。

会計

- 松村佳代(太田) 31回生
- ① 諏訪市・上諏訪中
 - ② 私たち3部は「御手洗かお
る大根坂の思い出」というお笑
い芝居を、隣の4部は宝塚ばり
のミュージカルを、というギャッ
プがすさまじかったひなまつ
り。
 - ③ 「役に立つ！」

記録

- 川口洋子(藤森) 36回生
- ① 諏訪市・諏訪西中
 - ② 卒業生を送る会：皆でいろ
いろな衣装を着て楽しく踊っ
た事。
 - ③ 楽しく頑張ります。

記録

- 杉山恵美(矢崎) 36回生
- ① 諏訪市・諏訪中
 - ② 「卒業生を送る会」の創作舞
踊。音楽・衣装・メイクなどに
凝った。
 - ③ 先輩方の二葉魂を受け継ぎ
頑張ります。

記録

- 前田妙子(藤森) 36回生
- ① 諏訪市・諏訪中
 - ② 卒業生を送る会：クラスで
の舞台発表でしたが個人的過
ぎて反響が大きかった。
 - ③ 先輩方の背中を見ながら勉
強させていただきます。

会計監査

- 和田靖子(二村) 29回生
- ① 下諏訪町・下諏訪中
 - ② 二葉祭でしょうか。
 - ③ 監査の出番はわずかですが
会計さんと楽しく仕事したい
と思います。

会計監査

- 内田眞理子(増澤) 29回生
- ① 下諏訪町・下諏訪中
 - ② 二木先生の熱血指導。自己
表現の大変さと楽しみを学び
ました。
 - ③ 会計がスムーズにできるよ
うな監査を心がけます。

事務局

- 瀧田由織(斉藤) 27回生
- ① 諏訪市・上諏訪中
 - ② NHK全国高等学校放送コ
ンテストに参加し県代表として
出場した広島市での決勝大会。
 - ③ 東京支部の名簿と維持費を
しっかり管理させていただきます。

平成30年度東京支部代表幹事名簿 2018.6.23現在

回生	氏名	旧姓	回生	氏名	旧姓
10	三浦 一重	安達	28	大宮 澄江	根橋
11	守屋 静子	寺平	29	内田 眞理子	増澤
12	秋田 中子	五味	30	谷口 文	宮坂
13	伊藤 久子	熊井	31	松木 きよみ	山田
14	永田 福子	牛山	32	君島 洋子	石原
15	柴田 百合子	坂本	33	藤森 ゆり子	塩原
16	春宮 みずほ	浜	34	池上 敦子	浜
17	根本 なほ美	小林	35	高杉 多実	宮坂
18	中坪 清子	小沢	36	川口 洋子	藤森
19	伊藤 せき子	小野	37	杉原 佳容	河上
21	浅妻 まゆみ	矢崎	38	宮坂 さち子	宮坂
22	庄司 いずみ	河西	39	大庭 節子	細田
23	宇田川 美和子	五味	40	藤井 みさき	大田
24	志賀 貴江	志賀	41	津田 恵美	小林
25	荒木 圭子	高木	42	尾崎 恵美	長田
26	小林 妙子	松沢	43	後藤 みどり	菅沼
27	塚本 悦子	岩波	44	中村 あゆみ	

※個人情報保護のため、電話番号は掲載いたしません。

「八葉会」五十年のあゆみ

高校8回生 宮川秀世



私たち高校8回卒業の同期会は昨年6月80歳を迎えて50回続いた八葉会を閉じました。1966年、昭和41年東京うずら荘（東京都教職員宿泊所）で会費500円から始まった会がすっかり歩んで来られたのは、次の様な取り組みが実を結んだのです。

●学び合い触発し合おう！

私たちは、いつの日も進歩、成長を望み、向上心とその気迫は企画の内にあり、講演会、各地での講話、見学に、そして友人が語る人生論に耳を傾けて、学び、互いに触発し合い成長してきました。

●ひとりでも多くの同期生と仲よくしよう！

仲間を広く深く求めて、会の開催地を巡回、地域ごとに幹事を担当したことが幸いでした。一生懸命、事前の調べや工夫をする。その準備作業

を通して絆を強め、終了後は『八葉会だより』を発行してミニ『八葉会』が誕生する。地方での独り幹事にはお手伝い協力の輪ができる、等連帯を深めて引継ぎました。

●可能な限り継続を！

小さな仲良しグループの域を超え八葉会としての組織を守り続けられたのは、みんなで粘り強く努力した賜物です。運営には様々な工夫や改善した知恵を出し合いました。

『例会』を位置付けて大切な事柄は当日参加者の総意で決定。名簿（常に訂正、修正し約10年に一度くらいで更新）、維持費（年1000円）納入台帳の処理、管理、次回担当幹事、維持費の運用、そして会則を設けて『会』としての土台の上で活動してきました。なかでも『八葉会だより』は参加できなくても維持費納入

状況や会計報告、当日の会の様子、住所変更、訃報などを知らせる事によって透明性と親近感を保持してきました。この50年のあゆみを『八葉会とともに』（「続」八葉会とともに）「あれから10年」2冊の記念誌を発行して思い出のアルバムとして共有の宝物としています。



母校だより

諏

訪二葉高校は昨年110周年を迎え、また共学になって30年が過ぎました。生徒数は男子287名、女子427名、総計714名となりました。

現役生も各方面で活躍しています。宮沢歩さんが県大会で三段跳びと100mで優勝、野球部は創立30周年の記念試合に快勝しています。かつてとは、行事や授業、部活などいろいろな面で変わっているようです。二葉の同窓生でもある唐澤先生からお話を伺ったところ、学生生活も日程的に忙しく、私たちの思い出の場所でもあるすこやか像の傍らでのお花見なども、今の学生生活ではそんな余裕がないことや、音楽会も個人や有志の参加があったり、楽器の持ち込みが認められたりと様変わりしている様子でも、校内では外部の方にも挨拶をしてくれるような素敵な生徒たちでいっぱいでした。

▲スポーツニッポン長野版
5月28日号より



▶長野日報 6月18日号より

輝く
同窓生
6

人生はブルース、 そして、人生はかつぽれ！

高校36回生 津野塩



を思う存分愉しんで頂く事だ。最近では、「かつぽれ」も踊る厚かましさに命をかけている。亡き祖父、田村与一の愛して止まぬ市丸姐さんの蓄音機から流れる艶やかな歌声を思い出す。

所詮、人間は原体験がモノを言う。世界を旅し色々な出会いと素敵なご縁を頂き、芸事好きでイイ加減な我人生は、清志郎の様にブルースでも唄いながら、タイトロープの上を歩いている様な危うさがある。

3年前から取り掛かっているのは、インバウンドで、ハラル対応の料理を始めている。2020年には、日本に140万人のムスリムがやって来る。「オリンピックなんでも」等と言ってもいいぞ！



同期会報告
26回生
同期会始めます
高校26回生 小林妙子

同期の同窓会本部の岸会長からの声かけで、今回初めて総会に出席し、年賀状だけのお付き合いになっていた旧友と30〜40数年ぶりに再会致しました。

容姿はそれなりに年を重ねたとはいえ声は昔のまま、若かりし頃にタイムスリップした気分でした。

総会終了後は、同期出席者7名全員で二次会へ。

来年の総会後も定期的に同期会しようね！と盛り上がり、次回は9月の二葉高校でのロビーコンサートで再会予定です。

同窓会なくしては私達26回生は再会する事はなかったかもしれない。

今まで同窓会の維持・運営に携われた皆様、会員の皆様様に改めて感謝致します。



と女将業は超絶だったが、その傍、独学で「ソムリエ」「唼酒師」の資格取得。娘6歳6月6日の芸事始めは、藤間流日踊で国立劇場の「禿」が初舞台。私も調子に乗り、長唄、小唄、端唄、三味線の稽古を始めるのべ20年。芸事の御師匠様は10人は下らない。平成25年度日本小唄連盟 若樹賞 受賞。扇和塩の名を頂く。国立劇場、三越劇場、京都歌舞練場等で舞台を踏む。

1年前に習い始めた、「大江戸芸 かつぽれ」は櫻川びん助直門に師事。現在私が経営している西新宿十二社「たくあん 牡丹亭」は芸者衆のいる花街だった。今日、私が出来る「おもてなし」とは、相手が寛げる会話、料理、お酒のマリアージュは勿論の事、お座敷で小唄、都々逸、三味線等の一興をし、そのひと時

初参加の総会にて我らのヒール「ロクさん」の「山の歌」を聞き涙が止まらず、心はずっかり「あの時」にタイムトリップ。「オリンピックなんだに我家で神話化されているが、父と母の大恋愛時代はそれどころではなかったらしい。全国が東京五輪で絶叫最中、縄文のビーナスが出土された八ヶ岳山麓で私は生まれた。母は高校14回生、妹は48回生だ。二葉最大の思い出は、ロクさんの時間で、忌野清志郎をモチーフにしたシルクスクリーンは忘れられない我傑作だ！ 美術や演劇部仲間との反核運動にも情熱を賭けた。卒業後は、神田外語学院に入学。外国人教師指導のもと、日本航空開発(株)に就職。TOEFLスコアは85だった。出向先はドイツのデュッセ

平成31年度 定期総会のお知らせ ※詳細は平成31年3月末にご案内します。

日時 平成31年5月11日(土) 午前10時～午後3時

会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
住所: 東京都千代田区九段北4-2-25 (アクセス) 市ヶ谷駅徒歩2分
電話番号: 03-6685-0541

内容

- ① 総会 平成30年度事業報告、決算報告、監査報告
平成31年度役員紹介、事業計画(案)、予算(案)
- ② 講演 上野 千鶴子氏(社会学者)
「おひとりさまとして自分らしく生きる～あらゆる資源を活用して～」
- ③ 茶話会



菅野 勝男 撮影

上野 千鶴子 氏

社会学者・東京大学名誉教授・認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク理事長。1948年富山県生まれ。京都大学大学院社会学博士課程修了。内外の大学客員教授を歴任、1995年から2011年3月まで東京大学大学院人文社会系研究科教授。専門は女性学、ジェンダー研究。この分野のバイオニアであり指導的な理論家の一人。著書に「おひとりさまの老後」(法研)「おひとりさまの最期」(朝日新聞出版)「世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状」(中公新書ラクレ)など多数

平成30年度 幹事会のお知らせ

※幹事の皆様には後日ご案内します。

日時 平成30年11月23日(金/祝)
午前9時～12時

会場 アルカディア市ヶ谷(私学会館)
住所: 東京都千代田区九段北4-2-25 (アクセス) 市ヶ谷駅徒歩2分
電話番号: 03-6685-0541

内容

- ① 平成30年度定期総会報告
- ② 平成30年度支部活動について
- ③ 平成31年度に向けて
総会アンケート結果報告
- ④ その他

編集後記

■支部だよりを発行するにあたり、現役生の活躍や校舎の今の様子などの取材に、40年ぶりに母校を訪れました。すこやかな像と中庭にわずかに面影が残るくらいで、私たちが知っている二葉とはずいぶん様変わりしていましたが、ステンドグラスと木のぬくもりの残る素敵な校舎、同窓生、故辰野登恵子氏の大きな抽象画など、ぜひ訪れてほしい場所です。■同窓会も共学になってから30年、男性や若い方の参加が進められるような、魅力的な組織を目指したいと思います。(鈴木)

平成30年度役員連絡先

役職	氏名	電話・FAX
支部長	五味 のりほ	042-335-5533
副支部長	村松 多寿子	03-3970-4440
副支部長	岡田 光子	048-767-8418
副支部長	鈴木 泉	044-701-1766
事務局	瀧田 由織	044-965-1345

ご寄付をいただきました

高女20回生 中村ちあき様ご遺族から
100,000円
高校9回生の皆様から
264,000円
有志の方々から
17,000円

心よりお礼申し上げます。
有意義に使わせていただきます。

ふるさと 諏訪市からのご案内 ～諏訪市への移住に興味のある皆様へ～

1 <ふるさと回帰フェア2018出展> 諏訪湖移住プロジェクト(岡谷市・諏訪市・下諏訪町)

諏訪市の移住相談ブースへ是非お越しください!しごと(人材バンク)、住まい(空き家バンク)等の移住支援制度で皆さまの移住をサポートさせていただきます。

- ◆日時: 平成30年9月9日(日) 午前10時～午後4時30分
- ◆会場: 東京国際フォーラムホールE(展示ホール)
- ◆内容: 諏訪市への移住相談・支援制度のご案内 等
- ◆申込: 不要、当日直接会場へお越しください。



お問い合わせ

諏訪市 企画部 地域戦略・男女共同参画課
TEL: 0266-52-4141
E-Mail: senryaku@city.suwa.lg.jp

2 諏訪を知ろう! 諏訪と出会う! 「諏訪の地酒でほろ酔いコン」を東京で開催!

諏訪の男性が東京に向く、移住婚活イベントを開催!
移住経験者の「真澄」蔵元 宮坂醸造の女性社員による
諏訪暮らし体験談セミナー、日本酒紹介、そして地酒の試飲付き★

甘酒も
あります!

- ◆日時: 平成30年11月23日(金/祝) 午後2時～5時30分
- ◆会場: 移住・交流情報ガーデン(東京駅八重洲口近く)
- ◆内容: [第一部] 女性向けセミナー
・諏訪市の紹介、移住し諏訪の酒蔵で働く女性社員の暮らし紹介、日本酒の豆知識紹介 等
[第二部] 移住婚活イベント
・諏訪の男性と諏訪の地酒・おつまみを楽しみながら交流、マッチングすると素敵な記念品をプレゼント!

- ◆対象: 諏訪への移住に興味がある独身女性
- ◆参加費: 女性は無料
- ◆申込: 9月1日(土)～10月31日(水)まで
申し込み用メール: en-musubi@city.suwa.lg.jp
※詳しくは諏訪市HPで「婚活」と検索してください!

「長野県地域発元気づくり支援金」活用事業